

第二次審査の進め方について

令和2年12月23日

1 第二次審査における各組織の役割

組織	役割	作成する書類等
P F I 検討 委員会	<ul style="list-style-type: none">調査基準額未満の提案に対する調査提案内容の審査および評価優秀提案者の選定	<ul style="list-style-type: none">審査講評答申
財務会計WG	<ul style="list-style-type: none">提案内容のうち、財務・会計面に係る収支計画の妥当性等の確認	<ul style="list-style-type: none">財務会計WG調査票
技術WG	<ul style="list-style-type: none">提案内容のうち、技術面に係る実現性および有効性等の確認	<ul style="list-style-type: none">技術WG調査票
事務局	<ul style="list-style-type: none">調査基準額未満の提案に対するPFI検討委員会への報告審査表の作成各WGおよびP F I 検討委員会の作成する書類等のとりまとめ	<ul style="list-style-type: none">調査書審査表

2 第二次審査の流れ

資料 2 - 2 : 「第二次審査スケジュール」参照

1月6日～13日	第二次審査書類の提出
1月下旬	第二次審査書類・審査表・各WG資料を各委員へ配布
2月2日(PM)	★財務会計WG
2月5日(PM)	★技術WG
<u>2月12日(PM)</u>	<u>第4回PFI検討委員会（論点整理）</u> (・調査基準額未満の提案があった場合には、事務局より調査結果を報告) <ul style="list-style-type: none">・事務局より標準未満に係る提案の有無を報告・各WGからの報告
<u>2月24日(終日)</u>	<u>第5回PFI検討委員会（プレゼンテーション審査）</u> <ul style="list-style-type: none">・審査および採点・集計・最優秀提案者の選定
～3月上旬	審査講評の作成
<u>3月中旬</u>	委員長から知事への <u>答申</u>

3 提案審査書類の内容

別冊2：「様式集及び記載要領」参照

○ 様式集および記載要領

(1) 合計枚数 最大96枚 (A4版タテ)

※ Excel表 (収支計画、改築および修繕提案書)、添付資料除く

(2) 提出方法

- パイプ式ファイル (3~5cm程度) にて提出
- 書類毎に仕切り紙を挿入、提案項目毎にインデックスシールを貼付

(3) 委員に提示しない資料

- 2-4「応募企業又はコンソーシアム構成員の実績」
- 6-5「下水道事業に係る改築費用」
- 11「運営権者提案額」
- 任意事業 (評価対象とならないもの)

○ 提案概要書 (A3版ヨコ: 3枚)

※ 基本的なフォントサイズ、余白のみを指定し、細かな体裁は定めない。

4 ワーキンググループの設置

○ ワーキンググループの役割

第二次審査書類の記載内容は多岐にわたり、各分野における専門性の高い情報が多く含まれることから、P F I 検討委員会の各委員による的確な審査・評価を可能にするため、専門性の高い情報を、その分野に精通した委員により整理するもの。

○ 設置するワーキンググループ

① 財務会計ワーキンググループ（財務会計WG）

各評価項目の特徴や利点、懸念点を整理する。

② 技術ワーキンググループ（技術WG）

評価項目を総括し、主要な技術や取組等を整理する。

4 ワーキンググループの設置

※番号は優先交渉権者選定基準の評価項目番号

○ 財務会計WG

◆ 取り扱う評価項目と整理する内容

2. 「事業実施体制」の内、2-1「役割分担及び機関設計」

- S P Cの意思決定のプロセスに関して、特徴や利点等を整理する。

3. 「収支計画・資金調達方法」

- 計画財務諸表及びその前提条件、想定されるリスクへの対応方法に関して、特徴や利点等を整理する。
- 資金調達方法について、安定性・継続性の観点から、特徴や利点等を整理する。

9. 「事業継続措置」の内、

9-1「事業継続性を確保するための対応策」

- 事業継続性を確保するために必要な資金の考え方及び資金ショート等のリスク対応策について、特徴や利点等を整理する。

4 ワーキンググループの設置

資料 2 - 3 : 「財務会計WG調査票」参照

◆ 財務会計WG 調査票 (案)

(案)

財務会計WG 調査票 (グループ)

2-1 役割分担及び機関設計

○代表企業・構成企業の役割, 位置づけ, 出資比率

【提案内容】

- ・
- ・
- ・

※企画提案書から機械的にコピーを行う。

【所見】

- ・
- ・
- ・

○意思決定のプロセス, ガバナンスの確保, 意思決定の迅速化

【提案内容】

① 意思決定プロセス, 迅速化について

- ・
- ・
- ・

②ガバナンスの確保

- ・
- ・
- ・

【所見】

- ・
- ・
- ・

4 ワーキンググループの設置

※番号は優先交渉権者選定基準の評価項目番号

○ 技術WG

◆ 取り扱う評価項目と整理する内容

4. 「水質管理」

5. 「運転管理・保守点検」

6. 「改築・修繕等」

※ 評価項目毎の総合的な所見を整理する。

※ 提案内容から主要または特徴的な技術・取組等を抽出し、本県の事業環境（立地・気候・水質・水量等）を踏まえ、主に提案の「実現性」と、記載した効果等の「有効性(妥当性)」、実施上の留意点等を整理する。

（宮城県で確実に実施できるか？／期待している効果が誇大ではないか？）

4 ワーキンググループの設置

資料2-4:「技術WG調査票」参照

◆ 技術WG調査票

調査票① (案) : 評価項目毎に総括

(案)
技術WG 調査票①

4. 水質管理
4-1 上水の水質管理
○ 水質管理計画、水質試験及び監視体制、水質異常に向けた管理

【所見】

(A グループ)
.
.
.

(B グループ)
.
.
.

(C グループ)
.
.
.

※ 特長、傾向、懸念点を記載

調査票② (案) : 主要な(特徴的な)技術を解説

PFI検討委員会 技術WG 調査票(案) 【Aグループ No.〇】

(((技術・取組等の名称・タイトル)))
～キャッチコピー等(ある場合)～

写真やイメージ、図表等 (技術等の概要)
.....
.....
.....
.....

(技術等の概要2)
.....
.....
.....

原則として提案書のコピーにより作成するものとし、作成者のバイアスを排除する。

(有効性・効果等)
.....
.....
.....
.....

(実績・根拠等)
.....
.....
.....

(導入計画・留意事項・その他)
.....
.....
.....

○技術等に係る補足情報
・技術の成熟度(研究段階～実証段階～展開済)
・先行事例における課題の有無
・メンテナンス性
・環境性能
・地域貢献
・etc.....

提案書に記載の無い情報を追加するものとし、次項の判断の参考とする

○提案書記載内容に対する意見等
(1) 有効性・効果等について

(2) 実現性について

(3) 実施上の留意事項・関係法令等

実施に当たって必要な要件や法手続き、地元調整の要否や難易等についてコメントする。

○プレゼンテーション審査において確認すべき事項

確認・質問事項および事前に応募者へ通告するかを記載する。

○その他・備考

上記以外に残すべき事項を記載する。

令和2年度
第3回PFI検討
委員会資料
資料2-4

4 ワーキンググループの設置

○ P F I 検討委員会への報告

- 第4回P F I 検討委員会（2/12：論点整理）において、各委員が公平・公正な評価が可能となるよう、各W G 座長から提案の特徴と利点等を報告する。

○ 留意点

- プレゼンテーション審査で質問・確認すべき内容をまとめ、必要に応じて予め各応募者に通知できる。（即応性を問うべき質問は通知しない）
- 提案内容に関して、応募者から追加で資料を提出させることは、公平性の観点から行わない。
- 各委員が関係企業（金融機関および技術所有企業等）に確認を行いたい場合には、事務局を通して行うものとする。

5 評価方法

○ 審査表の用意

(1) 目的

- 提案内容の審査に当たり、提案内容と評価基準とを照合すると共に、3グループの提案内容を対比し、各委員が公平・公正な評価を円滑に行えるよう支援するもの。

(2) 内容

- 提案項目毎に優先交渉権者選定基準を掲載。
- 提案項目毎に、提案内容の見出しやタイトル等を整理。
(提案書の各審査項目から機械的に見出しやタイトル等を抜き出す)
- 巻末に採点表を掲載。

5 評価方法

資料2-5:「審査表」参照

◆ 審査表 (案)

○ 優先交渉権者選定基準

提案項目 記載必須項目	配点	評価基準				記載上の留意事項
		標準未満	標準 配点×0.6	良 配点×0.8	優 配点×1.0	
1.全体事業方針 (10点)	10					
1-1本事業等の全体方針						
①20年間にわたる3事業一体運営の全体方針	7	「標準」を満たしていない。	本事業等の特性や、基本運営方針の十分な理解を踏まえ、本事業等の全体方針が明記されている。また、各提案項目と整合している。	具体的な内容が提案されており、3事業一体運営、イノベーション及び環境負荷低減に係る創意工夫が明記されている。	「良」を上回る提案があった場合に、評価の対象とする。	①3事業一体運営のビジョンや経営戦略について記載するとともに、応募者が考える3事業一体運営の効果を明記し、その効果を最大限発揮するため方針を記載すること。 ①新技術の開発・導入、創意工夫といったイノベーションに関する方針を記載すること。 ①環境負荷低減に関する方針を記載すること。 ①個別の施策や数値の記載は必要としない。 ①各提案項目における提案を結び付け、提案全体を貫くストーリーを記載すること。

○ 提案審査書類の比較

提案項目	配点	提案内容		
		Aグループ	Bグループ	Cグループ
1.全体事業方針 (10点)	10			
1-1本事業等の全体方針				
①20年間にわたる3事業一体運営の全体方針	7	<p>「安心・安全・安定的かつ効果的な上上下水道運営」</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 安心・安全な水の供給 ② 先進技術の活用により運営の最適化の実現 ③ 環境負荷や地域に配慮した持続的な水道運営 ④ 人材の育成や地域活性化による貢献 ・ ・ 	<p>「みやぎの誇りとなる安心・安全を追求した3事業一体運営」</p> <ul style="list-style-type: none"> ①安心・安全を第一とした水の供給を実現並びに県民理解の醸成 ②安定的な運営と先進技術の取り込みの両立 ③災害時等においても水を止めないバックアップ体制の確立 ④薬品使用の最適化など、環境負荷低減に寄与 ・ ・ 	<p>「既存の枠に囚われない、先進的かつ効率的な3事業一体運営による安心・安全な水道運営」</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自動化を進め、効率的な運営の実現 ②データの活用や新技術を積極的に取り入れ、従来よりも安全かつ安定的な水の供給の実現 ③安全性の確保のために、独立したチェック機関の設立 ④みやぎ型の成果を県民・国民・世界への発信 ・ ・
メモ欄				

5 評価方法

資料2-5:「審査表」参照

◆ 採点表 (案)

○ 採点表

委員名: _____

「標準・良・優」の中から1つを選んで○で囲んでください。

提案項目	配点 (A)	Aグループ			Bグループ			Cグループ		
		知評等	評価 (B)	点数(A)×(B)	知評等	評価 (B)	点数(A)×(B)	知評等	評価 (B)	点数(A)×(B)
1.全体事業方針 (10点)	10									
1-1本事業等の全体方針	7		優 (1.0) ・ 良 (0.8) ・ 標準 (0.6)			優 (1.0) ・ 良 (0.8) ・ 標準 (0.6)			優 (1.0) ・ 良 (0.8) ・ 標準 (0.6)	
①20年間にわたる3事業一体運営の全体方針										
1-2 9個別事業ごとの現状分析、課題整理及び対応策	3		優 (1.0) ・ 良 (0.8) ・ 標準 (0.6)			優 (1.0) ・ 良 (0.8) ・ 標準 (0.6)			優 (1.0) ・ 良 (0.8) ・ 標準 (0.6)	
①本事業等に対する現状分析、課題整理及び対応策										
2.事業実施体制 (11点)	11									
2-1役割分担及び機関設計	3		優 (1.0) ・ 良 (0.8) ・ 標準 (0.6)			優 (1.0) ・ 良 (0.8) ・ 標準 (0.6)			優 (1.0) ・ 良 (0.8) ・ 標準 (0.6)	
①応募企業又はコンソーシアム構成員の果たす役割及び位置づけ、並びに出資構成										
②SPC組織図										
2-2 9個別事業の遂行能力	3		優 (1.0) ・ 良 (0.8) ・ 標準 (0.6)			優 (1.0) ・ 良 (0.8) ・ 標準 (0.6)			優 (1.0) ・ 良 (0.8) ・ 標準 (0.6)	
①9個別事業の事業実施体制図										
②業務責任者の専門的能力及び資格										
③協力会社との協業体制										
2-3 人員確保の確実性	3		優 (1.0) ・ 良 (0.8) ・ 標準 (0.6)			優 (1.0) ・ 良 (0.8) ・ 標準 (0.6)			優 (1.0) ・ 良 (0.8) ・ 標準 (0.6)	
①9個別事業の人員確保のための計画										
2-4 応募企業又はコンソーシアム構成員の実績	2		優 (1.0) ・ 良 (0.8) ・ 標準 (0.6)			優 (1.0) ・ 良 (0.8) ・ 標準 (0.6)			優 (1.0) ・ 良 (0.8) ・ 標準 (0.6)	
①上水道事業の実績										
②下水道事業の実績										

5 評価方法

○ 評価に関する基本的事項の確認

(1) 第4回PFI検討委員会（2/12：論点整理）における事務局からの報告事項

- 調査基準額を下回る応募があった場合の調査結果。
- 「標準未満（失格）」となりうる提案項目の有無。
- 水質管理体制や運転管理・保守点検計画にかかる各応募者の提案と現行体制との比較結果。
- 各応募者が提案する改築計画と県計画との対比結果、傾向等。

(2) 評価の判断基準について

- 各グループの提案について、項目毎に評価基準に照らして採点する
(標準、良、優)

(3) 得点化の方法


- 全委員の採点結果を項目毎に平均し、集計。(少数第3位を四捨五入)

6 プレゼンテーション審査の進め方

別冊3：「第二次審査におけるプレゼンテーション実施要領（案）」参照

- 会 場：県庁9階 第1会議室
- 日 時：令和3年2月24日（水）午前9時～午後4時
- 備 考：
 - プレゼンテーションは提案審査書類の内容を補足するものであり、その内容は提案審査書類に記載の範囲内とする。
 - プレゼンテーションの内容及び質問に対する回答は履行義務を負う。
 - なお、提案審査書類の記載内容との間に矛盾がある場合には提案審査書類を優先する。
- 新型コロナウイルス感染防止対策：
 - リモート参加（テレビ会議システム等の活用）を認める。
 - 応募者と審査者、審査者間の十分な離隔の確保。
 - 換気の確保と、マスク着用の徹底、応募者及び事務局の健康管理
（2週間前からの体温管理、同居者等の発熱有無を含む）

6 プレゼンテーション審査の進め方

- 1 コンソーシアム当たり90分
(発表：45分以内、質疑：45分(定刻まで))
- 参加者は最大15名
※ 応募企業又はコンソーシアム構成員に限る。
(協力会社やアドバイザーの出席は認めない)
- 当日のスケジュール

 - 9:00 ~ 10:30 1 番目のコンソーシアム
〔入替・記入・休憩〕
 - 11:00 ~ 12:30 2 番目のコンソーシアム
〔入替・記入・休憩〕
 - 13:30 ~ 15:00 3 番目のコンソーシアム
〔退場・記入・休憩〕
 - 15:30 ~ 16:00 集計・優先交渉権者等の選定
- 控室の用意
応募者は企業局会議室(15F)にて待機